

AIを活用した防犯対策推進事業
PR講演会

AI × 防犯 ボランティア

～技術で拓く地域防犯活動の新たな可能性～

名古屋市は、AIによる犯罪予測を用いた防犯パトロール支援アプリを、地域で防犯パトロールに取り組む皆様に提供する、世界的にも先進的な取り組みを始めます。

この講演会では、これまで地域防犯活動が果たしてきた役割と効果を再確認し、新しい技術をどのようにして地域の防犯活動に役立てるか、その効果と可能性を考えます。

日時

令和3年

8.6

金

13:30～16:00

第1部 13:30～ 第2部 14:50～

参加
方法

事前にお申込みいただいた方に
EメールでURLご連絡します。
(申込方法は裏面をご覧ください。)

ライブ配信
@YouTube

※ 録画配信は8月31日(火)まで

受講費
無料

第1部 基調講演 13:30～

テーマ 犯罪心理学から迫る地域防犯活動—犯行分析と包括的アプローチの効果—

講師：桐生 正幸（東洋大学 社会学部社会心理学科 教授）

山形県警の科学捜査研究所（科捜研）で主任研究官として犯罪者のプロファイリングに携わる。その後、関西国際大学教授、同大防犯・防災研究所長を経て現職。犯罪心理全般に関する研究を行い、尼崎市の地域防犯アドバイザーを務めるなど地域防犯にも明るい。新聞、ワイドショーや報道番組での事件解説や、テレビドラマ・映画の監修など、さまざまな分野で活躍中。



第2部 名古屋市での取り組み 14:50～

A I を使った犯罪予測&防犯パトロール支援アプリ 紹介

講師：梶田 真実（株式会社Singular Perturbations 代表取締役 CEO）

2010年3月東京大学大学院（博士）専門は統計物理（理論）。2017年株式会社Singular Perturbations設立。イタリアにてスリ被害に遭遇した経験をきっかけに、犯罪データ分析を開始、犯罪予測の独自アルゴリズムを開発。現在は国内外で犯罪予測に関する事業化を進める。



防犯パトロール支援アプリの活用事例・座談会

テーマ：防犯パトロール支援アプリがもたらす防犯活動の可能性

令和2年度に名古屋市が実施した、防犯パトロール支援アプリを利用した社会実証実験での活用事例や効果等を、実験にご協力をいただいた学区の関係者の皆様を交えて議論します。

登壇者 桐生氏、梶田氏、社会実証実験協力団体関係者

（荒子学区連絡協議会、大須学区連絡協議会、常盤学区連絡協議会、則武学区連絡協議会、矢田学区連絡協議会）

名古屋市での取り組み

名古屋市では、令和2年度に防犯パトロール支援アプリを使った社会実証実験を5つの学区で行いました。その結果、このアプリが地域防犯活動の活性化につながることが期待できると考え、令和3年度から、希望する団体が無料で防犯パトロール支援アプリを利用できる事業を開始します。利用するためには、名古屋市に利用団体として登録する必要があります。登録方法や条件などの詳細は、名古屋市のウェブサイトをご確認ください。

URL：https://www.city.nagoya.jp/sportsshimin/page/0000141627.html



名古屋市ウェブサイト

■ お問い合わせ・お申込み

申込期限 ライブ配信：8月4日（水） 録画配信：8月27日（金）

お申込み先

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

スポーツ市民局地域安全推進課

申込フォーム

こちらからもお申し込みできます。

URL：https://forms.gle/wbMYtHphYQtzWxny7



申込フォーム

TEL：052-972-3128 FAX：052-972-4823 Eメール：a3128@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

必要事項（氏名、連絡先（電話番号・Eメールアドレス）、所属）を申込書にご記入の上、上記の申込先にEメール、郵送、FAXにてお申し込みください。Eメールで申し込みをする場合は、件名を「8/6講演会申込」としてください。

申込書

ふりがな			
氏 名（必須）			
連絡先（必須）	電話番号	—	—
	Eメールアドレス	@	
所属（団体名等）			

注意事項・個人情報について

視聴に要する通信料等は視聴する方の負担となります。本講演会の録画・録音はお断りいたします。取得した個人情報は、本事業に関する各種ご案内、ご連絡のみに利用します。